

# 教頭通信デジタル

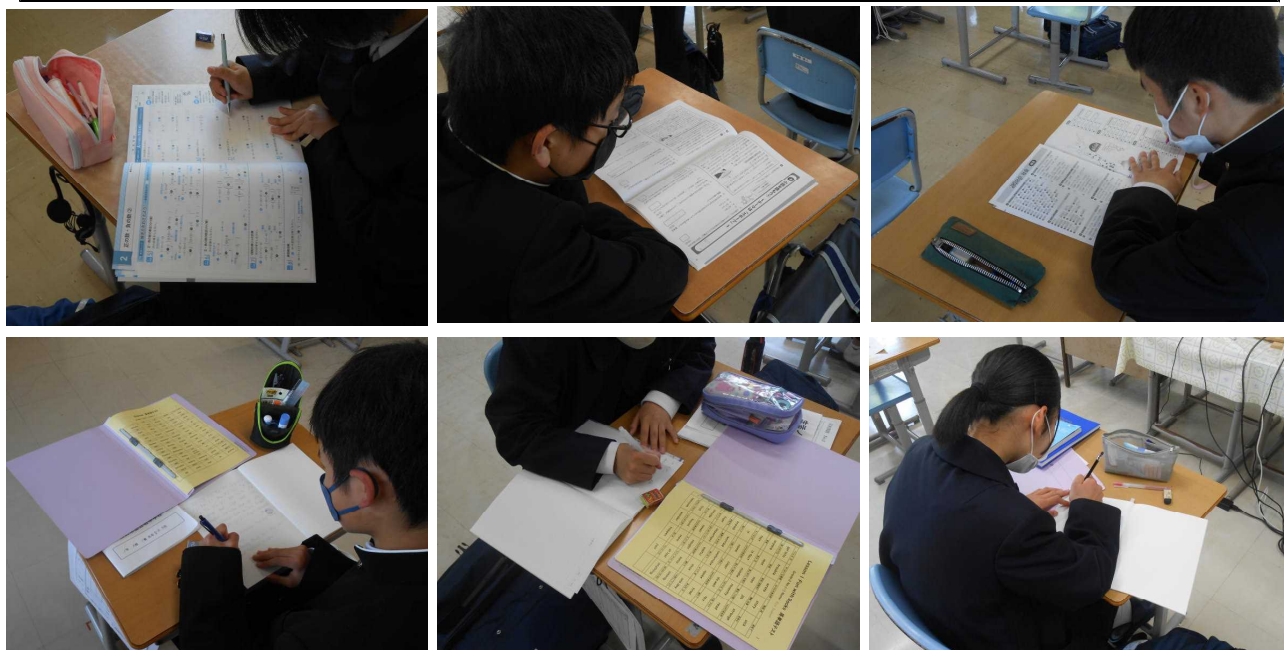
令和5年5月1日（月）第36号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 家庭学習の充実をめざして【その1】

第35号では、家庭学習時間が向上するための具体的な3つの取組を紹介しました。

- 1 帰りの会において、5分間の自主学習時間を確保し、家庭学習のグッドスタートが切れるようにします。また、優れた自主学習（自学ノート）を教室に掲示することで、学習意欲向上の一助とします。
- 2 毎週金曜日に全学年の宿題一覧表をホームページにアップし、【宿題の見える化】を行います。
- 3 定期的に家庭学習の実態調査を実施し、取組の評価と改善を行います。



4月28日（金）、帰りの会にお邪魔し今年度から取り組んでいる『自学タイム』を取材しました。わずか5分間の『自学タイム』ですが、どの学年も集中して学習に取り組むことができていました。内容は十人十色で、1人1人が自分自身の学習課題に応じた勉強に取り組んでいました。学年の傾向としては、3年生は問題集や参考書を活用し、受験を意識した学習を行っていました。1・2年生は、4月初めに配付した自主学習ノートを活用し、授業の復習を中心とした学習に取り組んでいました。年度初めのため、優れた自主学習（自学ノート）の教室掲示はまだ行えていませんが、好事例を紹介することで、学習意欲と自学内容の向上をめざします。また、本校HPの【学習コンテンツ】は毎週更新しています。GWも近づいておりますので、是非ともご覧ください。

次号では、第1回家庭学習・自主学習アンケートの結果を紹介します。